

常磐文藝

入啓送別 飯村 剛舟

君は今 國家の重任 帯びて行く 寒冷の肌も 炎熱の 汗みごうにも 軍歌に 意氣を懸けて 勇気たけつ 服務して 親兄弟の 面目を 増進せよや 願ひつる 君よこよ 管内生活は 辛難い管め 身を賭して 悲喜交又 ありとも 氷柱脈はずに 堅固をや 標的として 元氣旺盛 意氣得々と 働け！ 働け！ 軍務の守り 然して 強健強壯 守れ君 守れ君 人民の 先途に立ちて 範示せよ 犠牲をせよ さらば君 入營の折の 白旗見て がいと誇れ 其の旗の 額ひる如く (完)

特價大賣出し

- 時 十二月十六日ヨリ
- 一日 二十一日マデ一週間
- 友仙毛斯小巾 十 八 錢
- 白時赤ネル一丈 一圓三十錢
- 木綿裏地 九十五 錢
- 遠州正紺縞 一圓十八錢
- ニコニコ縞 一圓五十五錢
- 其他種々

大々の廉賣

平町 南町 (電話二二番) 鹽屋 吳服店

廣告

本社及本會は總會の決議により解散仕り候間此段廣告候也 追而廣告研究會入會金は御返戻致すべく候 大正十二年十二月十四日 平町紺屋町 正喜社 廣告研究會

看護婦派出

の求めに應ず 平町 南町 平看護婦會 電話三〇七番

製材機械、人魚印丸鋸

自動注油メタル、プリーリ一在庫 ゴムベルト、バラタベルト 佐藤鐵工所 平町 月見町 電話三六二番

銘白菊 酒沖正宗 味噌醬油

平町字材木町 (元矢吹酒店跡) 玉川屋支店 電話四二八番 從來三丁目新道通に 開業致居候處今回營業擴張の爲め前記の如く元矢吹酒店跡に移轉開業仕候間倍舊の御最負願上候

此券持参の方 限り移轉披露の爲め特引 一二割引 券にて販賣致します

定價 一部金貳錢 月極 二限リ一ヶ月卅錢

廣告 五號十三字詰 一行五十錢

刊休 日曜 大祭 祝日の翌日

印刷 福島縣石城郡平町 田町十六番地 常磐新聞社印刷部

發行兼 編輯人 川崎 文治

所行發 福島縣石城郡平町 宇長橋町卅五番地 常磐毎日新聞社



(一) 可讀物郵政第三號日十月一十年二十正大

刊夕日五十月二十

新聞製作者 川崎君 (七)

警城新聞 柏木 哲 形而下の方面より 見たる氏の手腕 上來前後六回の説述は何れも記者乃至新聞製作者としての川崎君に對する新聞倫理とか記者道徳とか所謂形而上の方面の片鱗を窺つたものであるが次に同氏の形而下の方面即新聞製作上技術家としての氏を批判し以て本篇の結論としやうと思ふ。 私は既往の短からぬ体験

から割り出して新聞製作の苦心が強く復興建築の設計その如く甚しからずとするもまた相當の苦心焦慮の結果に成るものであるを否むわけには行かない。而も境遇の變移から關係新聞に紙幅の廣狹新舊活字の變動或は日刊夕刊の異同等の生じた場合の如き記事の按排標題の形式或は夕刊で書く本日刊で昨日刊とか去る幾日と書かねばならぬ等俄に勝手元が變るなど其間人知れぬ苦心と焦慮とが存するものである、即ち新式のポイント活字を使用する普通大新聞から尙舊式活

字を用ゆる小新聞に移つた場合の如きは製作者として苦心はその間蓋しなみ大抵ならぬものがあるかく觀じ來る時に於て川崎君が從來永らくの間總てが新様式で地方大新聞に定評ある「いはらき」の記者から一轉して自己の經營する小新聞に執筆編輯するに方り技術上凡てが異つた世界に出たものであることはまた寸毫疑を容るゝ餘地がないと思ふ。而も尙ほ且つ全紙面快き均整を帯び洗練された記事のみ網羅しゆく處に氏の天才の躍動するを看取するものである (完)

丸登株式店

平町町電話三三三番 川添房二郎

### 東宮御婚儀の

#### お日取を漏れ承る

明春一月廿九日決定

東宮殿下と良子女王殿下御婚儀の御日取りは告期の御儀當日迄厳秘に附さるゝ趣であるが漏れ受けたまはる處に依るご御婚儀は一月廿九日の吉日と決定を見た由に拜啓する

〔本日東京特電〕

### 平町の南裏新道は

#### 眞一文字に貫通せず

町民の多数は此事を遺憾とす  
輿論を代表した投書ご當局談

平町南裡の新道路は既記の如く近く起工を見るに至るであらうが同道路は地域の關係に依つて長橋町から新川町に眞一文字に貫通する事を得ず材木町裏の中頃で南へ十間、郡役所前て北へ十三間の屈折の止むなき設計となつてゐる、道路の曲折は新市街の繁榮上にも多大の影響がある爲めに平町民の多数は甚だ此事を遺憾に感じて居るが現に右に關して本日一町民の匿名を以つて左の如き投書が本社に配達された

#### △郡役所

東隣りに五間程南に屈曲する設計ですが之れは將來大平町の發展上一直線としたいもので

現在警察署の前が五間程曲折して居る爲めあの混雑を見且つ紺屋町は全然商業地域として本町よりは數等も劣るので若しも本町通りが一直線に紺屋町へ通ずるならば一丁目や二丁目と同じく商業地としても

#### △地價

しても少しも差違は無い事と思ひます又材木町も僅か二間計り曲折して居る爲の南町や鍛冶町と全然其趣を異にし更に發展する模様もなく地價としても鍛冶町邊よりは現

### 市街は

是非直通を

昔舊幕時代には城下は其戰畧上必ず市街の區劃に屈曲を付けたものゝやうですが

在坪貳拾圓も下るさうです之れも南町鍛冶町と一直線に街道が通じて居るならば決して

△此差は ない事と思ひます今開設の新道路も將來大平町否市政を敷く平町として市役所も郡役所邊に近き將來に新築せらるゝ事と思ひます其時は新設道路は立派な市街地となり

平町中心地ともなる事と思ひます其時一直線に見通ふこの好い郡役所市役所税務署と

△櫛の齒 を比べて立派な市街としたいのです郡役所東隣にて僅か五間斗り屈折を設けて將來一丁目と紺屋町の様な町を作り度くないものです是非新川町より郡役所前ふれから税務署前と一直線に如何なる萬難を排しても通路したいものです

### 地主の意見

伊坂町長語る

是れに對して伊坂町長の説明を求めたが左の如くである

是非眞直な貫通道路を作らなければならぬが新道路は如何れも地主の寄附に依るものでありまして種々地割の關係上どうして二ヶ所に屈折を作らねばならぬかつたのです若し地主側の意見を容れず此屈折を承認しない事すれば新道路を開鑿する事が出来ません、此點は私共が非常に苦心を要した所でありまして將來

は如何にするとも目下の處は多少犠牲を拂ふ意味で此屈折を黙視するより外に方法がありません

女だてらに

### 荒

然も學校前で石城郡湯本町入山第四坑相馬郡松ヶ江村生れ荒木キヨ(二六)は二日午後二時頃磐崎村第一小學校前山林にて板橋榮吉大平左衛門外四人の男と丁半賭博をした事平署に探知さる

### 待兼ねの

#### ポ一の噂

例年より少い

カレンダーも薄くなつて本年も餘す處十數日となつた爲め各官衙や銀行會社はボ

なれば卵巢の成育に伴つて喇叭管、子宮、腔、外陰部の構造が發育し、整頓し、生殖の用に構ゆるやうになる。又此の内分泌液に乳線を刺激して、之を豊熟せしめ、適切な時期を達せず哺乳の大任を果すやうに準備を整へる、其他の從屬的の性の標徴も、何れは生殖

### 眞性慾問題

眞性の目的

の事業に直接或は間接に必要なものであるに相違ない。處謂女らしい全部は性の目的を貫徹する爲めの夫々の便宜を表示して居るものである。女が華奢に柔軟に出來てゐるのは嚴丈に角ばつて居るよりも以上に男子を索引するに有利である爲めに相違ない、女性は自ら働か自ら保護せずとも別に其の任に當るを天職として居る男性があるのである。人間の母である女性が同時に美の神を兼ねて居ることは、人類が最も進歩した生物であること

### 常磐片々

平町の新道路、二ヶ處に屈折

世路難と同様、眞一文字に出來ない

ポ一ナスの噂、ストロブは耳に蝟

噂だけでも景氣がよい  
平署の巡查採用試験、廿五名の應募者で近來にない大

#### 入叶ふ

是れを何んと思ふ

小學校前の山林で賭博を開帳した女がある

學校の御威光も案外なもの

#### 平町入營兵の

### 神前送別

祝宴を開く

既報平町入營兵送別會は明十六日午前十時より縣社子鐵倉神社々頭に於て先づ神前奉告を執行山部新官祝詞を奏上して司會者及入營者

### 豊間漁港竣工

本日其祝典を

石城郡豊間村漁港修築工事は本年一月から起工中の處此程竣工本十五日午前十一時から同海岸にて竣工式を挙げて参列者は佐瀬郡長其他百餘名の多きに達し消防組も同日を卜して秋季検閲を執行した

#### 平署巡查試験

平署に於ては本日午前九時から本縣巡查採用試験を行つたが受験者廿五名であつたと

山茶會懇談 磐中九回卒業生により成る山茶會は本午午後五時半から末廣に於て開會、思想及び社會問題を對談し懇談裡一夜を過す由

### 不平受付

投書歓迎

商人の弱味、小學校の教科書を供給した販賣店に對し實際は兒童から代金を取立て、あるに拘らず支拂はない學校が郡内に有る様子を商人は無理な請求も出來ず泣き入りで居ります

思ひますから當局の一考を煩して置きます(前郡議) 大越郡視學の答... 郡内の取次販賣所を調査し相當の處置を講じます

#### 平町人事

△出生 南町 五十嵐十作五男 新川町 阿部直記長女

#### 募集

文藝其他一般 投稿を歓迎します

△白銀町 佐藤増藏長女市子 鎌田町 菅野勘介四男卯之吉

大寶寺の星祭 平町大館大寶寺にては來る廿三日男女開運の星祭を催す由

#### 明日休刊

權取立に従事する中平町正木ウヨより取立木川二圓及び郡玉川村鈴木木田之助から取立てた十九圓廿錢を湯本町泉亭にて横領費消し平署にて取調中